



工事中の3番線路と北伊予駅高架橋



加藤 博徳 議員

北伊予駅高架橋の議会議決日などの詳細は

理解していただけられるよう意を配っていききたい

問

反対ではないが全額町負担で、工事をいつ、誰が起案し、いつ議会の議決をしたのか。詳細が不詳のため判断ができないので説明を求む。

一覧表をつけて、加戸知事宛てに要望を出している。これからはJRとさまざまな分野で交渉するので、経過の説明は意を配ってまいりたい。

したが、それ以降、順次動いていて、所管はまちづくり課で、その辺の書類が明確に残っていない。議決は、昨年の9月、町道認定したことが当然議決という意味だと思っている。

町長

平成18年3月30日に、伊予市長と私の連名で、

経緯は、最初の段階のどの段階から始まったとというのが明確にない。平成18年に町長が県に要望

事業については町道認定ということで事業を認めたと理解している。

小・中学校連携の取組みは

北伊予小と北伊予中学校で実施した

問

小・中学校連携の取り組み状況は。また、学校現場の事務的書類の軽減は。

で、子供たちの英語の理解度を確認することができた。引き続き、英語だけでなく教科を広げて出前授業、合同授業を行い、調査研究する検討委員会を立ち上げ、小中連携教育について取り組む。

報告文書は年々増加をしている。学校からの報告は電子データで提出するなど、できるだけ教員や事務職員に、手間や時間のかからないように、今後も創意工夫しながら軽減する。

教育長

ALTを活用した授業が展開され、双方の先生が授業を参観すること

国、県からの書類及び